

社協だより

2016.4.28

79号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

雫石町社会福祉大会

安心して暮らすことができる福祉のまちづくり
～ みんなが地域の立役者!! ～

第39回 雫石町社会福祉 大会開催!!



も く じ

- ◆平成27年度雫石町社会福祉大会 2～3P
- ◆お互いさま情報交換会報告 4～5P
- ◆西山保育園だよりVOL.16 6～7P
- ◆まちの福祉 8～9P
- ◆お知らせ 10P

表紙写真：3月12日(土)、第39回雫石町社会福祉大会が開催されました。
記念講演、事例発表等の詳しい内容については、2・3Pをご覧ください。

第39回 栗石町 社会福祉大会

誰もが安心して暮らすことができる
福祉のまちづくり みんなが地域の立役者

3月12日(土) 町総合福祉センターにて、第39回栗石町社会福祉大会を開催し、約270人の参加者が会場に集まり、式典が行われました。
式典終了後、「気づこう！高齢化社会だからこの強み!!」年をとって何が悪い!!」と題しての記念講演ならびに、「お互いさま情報交換会」から見えてきたもの」というテーマの下、事例発表が行われました。その一部を紹介します。

記念講演

「気づこう！高齢化社会だからこの強み!!」
年をとって何が悪い!!

葛巻町老人クラブ連合会

会長 土谷 育造 氏



葛巻町は酪農と林業の町として売り出しており、食料自給率は200%を維持しています。地元、葛巻町の食材を使って、子どもたちを育てることが出来ます。

私は葛巻町議会議員として11期、44年務め、高齢者が長年元気でいられるような体育設備・環境を地元葛巻町に整えるために活動してきました。

スポーツを通じて、若者も高齢者も一緒になって取り組むことが出来る機会へのきっかけとなりました。

議員として活動している際は、議員同士での問答を繰り返し、互いを高め合い、故郷の発展のために日々

切磋琢磨してきました。若いころ培ってきた経験は、将来どんな形であれ、活かすことができます。

年を取ることは誰もが通る道であり決して悪いことではありません。年を取り、物事の見方が変わると、今まで気が付かなかった町の発展のために解決しなくてはならない課題が見えてくることもあります。高齢者だからといって、社会から退くのではなく、誰もが地域を良くすることが出来る貴重な人材なのだから、自分たちの思いも地域の中に組み込める様に取り組んでいく必要があります。

最後に、どんな年を取っても人生を楽しむこと、日々の生活に生きがいを持っていろんな活動に取り組むことが健康な生活を過ごすためにも大切なことです。

事例発表

「お互いさま情報交換会」

栗石町駅前町内会自主防災会
防災委員 高橋 洋二 氏



駅前行政区は、栗石町内では低い場所に立地しており、大雨や火山噴火が発生した際には、大きな被害を受ける危険性が高いとされています。

普段から、自主防災組織では、災害時の避難場所や避難ルート、災害時の避難方法等について話し合い、年に数回避難訓練等を行っています。

お互いさま情報交換会を実施し見えてきたことは、災害時世帯の確認を行う際、自分たちの安全を確認するためにも、空き家や危険箇所の把握・周知を行う必要があると思えました。また、避難行動要支援者についても町内会で把握し、迅速かつ安全に避難できるよう訓練を行っています。必要があると感じています。

外柵沢民生委員・児童委員

山本 勝 氏



外柵沢行政区では、年々人口減少が進み、町内でも高齢化率は高い所に位置づけられています。限界集落と言われているかもしれませんが、自分たちではまだまだ頑張れると感じているし、実際に年を取っても現役で活躍されている方が多い地域です。

普段から地域内で災害時の危険箇所について把握しており、住民にも危険箇所付近に近づかないよう周知を行い、住民自身で安全を確認できるように取り組みを行っています。

また、町で主催する敬老会に参加できない方が多くいるため、敬老者に対して、行政区独自に敬老会をかねた食事を実施し、住民皆家族のような関係を築いています。

七区自治会福祉部部長

桐山 貞夫 氏



七区行政区では、空き家の問題が増えてきております。

近年、町内でも火災が多く発生しており、管理者がいない空き家は特に気をつけています。自治会内に福祉部を組織し、住民

栗石町社会福祉大会会長表彰

(社会福祉事業功労者 4名)

*角野 和江 氏



14年の長きにわたり、子育て支援ボランティアとして福祉の増進に努めた功績。

*土樋 耕子 氏



14年の長きにわたり、子育て支援ボランティアとして福祉の増進に努めた功績。

*櫻田 長榮 氏



13年の長きにわたり、栗石町民生委員児童委員として住民の福祉増進に努めた功績。

*天川 真喜子 氏



11年の長きにわたり、昼食サービスボランティアとして、町内の高齢者の安否確認を行いながら、利用者へ安心安全な昼食を提供してきた功績。

栗石町社会福祉大会褒賞

(在宅介護功労者 16名)

多年にわたり、献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績。

《上段右から》



・細川 幸子 氏

・下川原佐智子 氏

・高橋 素華 氏

・西田 美智子 氏

・中村 幸子 氏

・川村 弘子 氏

・高橋 安子 氏

・藤岡 ミチ子 氏

《下段右から》

・細川 清子 氏

・小田島 節子 氏

・晴山 リツ 氏

・細川 壽枝 氏

・松原 キミ 氏

・藤岡 ミチ子 氏

*岩瀬 克己 氏

*松岡 友子 氏

*茅橋 光子 氏



「記念講演の様子」

上野沢自治会会長

山口 尚志 氏



平成25年に発生した大雨災害では、上野沢行政区でも大きな被害を受けました。

が生活しやすい環境整備に力を注いでいます。行政区内に設置している花壇の整備等を、健康づくりや情報交換の機会もかねて、老人クラブにお願いしています。この取り組みは、行政区内の景観の美化に繋がっており、訪れた人がみな楽しめるような環境整備を心がけています。

その他にも、上長山無形文化財保存会として、昔から伝えられてきた伝統芸能を次世代に継承できるように活動を行っております。

年を取っても、生涯現役でこれからも地域全体で頑張っていきます。

私は発災当時、行政区を離れており、夕方小降りになったのを見計らって、集落各世帯の安否確認を行う為戻ることになりました。集落に向かう途中河川の氾濫により崩落した道を見て、集落に戻ることは無理ではないかと考えてしまいました。しかし、集落に残されている住民の事が気になり、後から駆け付けた仲間とともに、変わり果てた現状を目

平成27年度

『お互いさま情報交換会』報告

～ 1,319 名の地域住民が参加 !! ～

『お互いさま情報交換会』の三本柱

- ① 避難行動要支援者の避難経路確認
 - ・地域内の避難行動要支援者名簿を確認。自宅から地域で決めている一時避難所までの避難経路を確認すると共に、台帳に掲載されていない支援が必要な方や避難経路の危険箇所などを確認。
- ② 民生委員活動の紹介と見守り活動について情報交換
 - ・地域の民生委員が普段どのような活動しているか紹介。
 - ・民生委員が自主的に行っている見守り活動と地域コミュニティが行っている見守り活動について情報交換を行い、効率的な見守り体制について検討。
- ③ 行政・社協・地域からの情報提供、情報交換
 - ・行政や社協から地域コミュニティに関係する情報を提供。
 - ・地域の皆さんから、普段の生活で困っている事等について参加者全員で情報交換。

『お互いさま情報交換会』とは、平成27年度より、地域コミュニティ形成推進事業の地域福祉活動の一つとして、平成25年8月に発生した豪雨石町大洪水災害時の経験を踏まえ、住民相互の支え合い・助け合いの意識を高めることを目的に地域コミュニティが主催で開催しているものです。

平成27年度は、平成27年8月から平成28年3月までの期間、町内にあり64地域コミュニティ組織と地域コミュニティ未設置行政区3地区の計67ヶ所で開催され、1,319名の地域の皆さま方が参加されました。

『お互いさま情報交換会』の三本柱（※左図参照）の一つ「避難行動要支援者の避難経路確認」では、避難経路の確認だけでなく、支援が必要な方が、地域にどの位いるのかを把握し、有事の際に隣近所や支援者の方の声をかける体制づくりについて話し合われ、また、そこに住む地域の方々だからこそ知り得る情報（空き家や災害が発生しやすい場所、危険箇所等）も地図に書き込みながら話し合われました。

特にも、以前に災害に遭われたことのある地域では、防災意識が高く、活発な意見や情報交換が住民同士で行われていました。

また、参加された方からは、「今は、支援者側でも、自分がいつ支援を必要とする側になるかわからないので、動けるうちは地域で誰かのために頑張らないとならないな。」「民生委員は、報酬をたくさん貰っているものだと思っていたが、国から委嘱されているボランティアだということを知った。」「自分が日頃、直接関わらなければ分からなかったことを知る良い機会になった。」との声を伺うことができました。

社会福祉協議会では、今回お互いさま情報交換会へ参加させて頂くことにより、民生委員児童委員の活動紹介やふれあいサロンの設置や出前講座、各種相談事業の周知を行いました。また、それ以上に、住民皆さま方の自分の地域に対する愛着や地域独自で展開している見守りや防災等に関する活動について、車座で話し合うことができたことは非常に大きな収穫となりました。

平成28年度も6月より『お互いさま情報交換会』がスタートします。今年度も、情報交換会へ参加させて頂き、住民の皆さま方と共に考え、相談し、共に取り組みながら、町社会福祉協議会の基本理念である「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を進めていきます。

『お互いさま情報交換会』参加者の声

地域コミュニティの声

中南行政区
事務局長
中南 博さん



中南行政区では、11月14日にお互いさま情報交換会を開催しました。当地区は30数戸しかなく、お互い顔見知りなので、避難経路の確認はスムーズにできました。

一方では、普段、民生委員さんとの接点が少なかったため、自分の地区の民生委員さんがどのような活動をしているのか私も十分には理解していませんでした。

情報交換会で、当地区を担当されている二人の民生委員さんから、一人暮らしの方を定期的に訪問していること、就職活動の支援や生活保護の申請などを行っていることを直接伺い、地道な活動に本当に頭が下が

民生委員・児童委員の声

網張・五区地区
民生委員・児童委員
中川 真理子さん



平成10年9月3日、岩手山西側を震源とする震度6弱の地震が発生しました。岩手山の火山活動が心配されていた時でしたので、早く地区の現状を知りたかったのですが、電話が不通となり、住民の方へ連絡がとれない状況でした。安否確認のため巡回訪問したところ、網張地区は近くに断層があったため、かなり強い揺れで、家の中の物が壊れるなど大変な被害状況でした。

この時、感じたことは、災害時、地域によって被害の差があり、情報が入ってこない事があるので、普段からの隣近所の協力助け合いが大切だということでした。

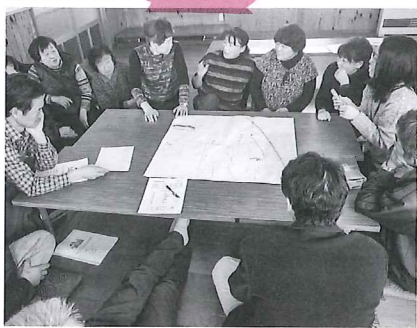
私が担当している地区は、範囲が広く、中々きめ細かな見守りが難しい所があり、不便をおかけしていると思っています。平成27年度から始まった「お互いさま情報交換会」は、住んでいる地域の様子を改めて話し合える場となり、民生委員としても、皆さんと情報を共有しながら、見守り支援活動に役立てることができると、今後も継続して開催してほしいと思います。

これからも、皆さんからの声をお聞きし、関係機関へ繋げるパイプ役として、安心して暮らせる地域づくりに役立ちたいと思っています。

る思いがしました。

平成27年度の情報交換会への地区の出席者は11人と少なかったこともあり、3月の行政区総会に民生委員さん御二方と町社会福祉協議会の職員を招いて、日々の活動や平成25年8月9日大洪水災害時におけるボランティア活動の状況について紹介していただきました。

当地区は、この水害で床上浸水など大きな被害がありました。今回のお互いさま情報交換会等を通じて、災害から身を守るためには、お互いに声を掛け合っていくことの大切さを再認識しました。





おめでとう

平成28年度 入園・進級 お祝い会



「1つ大きくなったよ!」



「上手にかけたよ!」



「新しいクラスにドキドキ♡ワクワク♡」



「おととと!!」



「大きなお家ができだよ」



「よーい…どん!!」



西山保育園保育士
武田 真奈美さん

新入職員紹介
平成28年4月以降に採用された職員を紹介します。
皆さんよろしくお願ひします。

年間行事
子育て支援「みんなの西山保育園」
5月27日(金) 男鹿水族館
7月29日(金) 夕涼み会
9月未定(金) 運動会
10月31日(月) ハロウィン
11月4日(金) 人形劇
1月13日(金) みずき団子づくり
☆事前の申し込みは必要ございませんので、お気軽に遊びにいらして下さい。

●遊びに来ませんか●
西山保育園では、子育て支援の活動として、その月の行事、季節に合った楽しい遊びを行っています。
対象：保育園に入園していない就学前の児童とその保護者

栗石町社会福祉協議会が経営する、民設民営の保育園となり7年目を迎えることができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力があったからこそ歩みだと思っております。心から厚く御礼申し上げます。今後も、地域に根差した保育園として子どもたちの最善の利益を第一に考え、歩んでまいります。

さて、豊かな自然に囲まれ、恵まれた環境のなかで過ごす、西山保育園の子どもたちは、思いきり遊び、よく笑います。また、時には悔しくて泣いたり、お母さんに会いたくて泣く日もあります。そのような中、優しく声をかけられ、お友だちと心を通わせ合いながら、色々な経験を重ね成長しています。4月に12名の新入園児を迎え、園児59名でスタートいたしました。園庭では、賑やかな笑い声が響いています。



保育目標

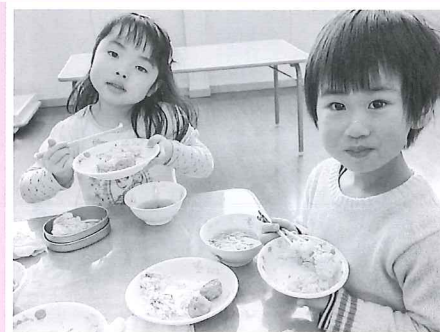
キャッチフレーズ ～限りなく 伸びよ 西山っ子～

1. 活動的に遊び、丈夫で元気な子ども。
2. 優しく思いやりのある子ども。
3. 自ら考えて行動する子ども。



食育目標

みんなと一緒に、楽しく食べることができる子ども。





まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

知報

地域支え合い事業(出前講座)

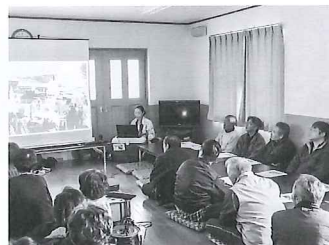
当社会福祉協議会では、地域コミュニティやふれあいサロン等で研修会を開催する際、プログラムの要望に沿った出前講座を、様々な関係機関と連絡を図り、開催しております。

平成27年度は、町内に設置されている25カ所のサロンを訪問し、各サロンの要望に応じた健康体操や簡単にできるゲーム・レクリエーション活動を行いました。参加者の皆さんからは、「普段の活動内容に幅が広がる。」「初めて行う活動なので、わくわくしながら活動を楽しむことができた。またやりたい。」「等、嬉しい声をいただいております。

また、地域コミュニティからも災害についての講話をする機会をいただき



「このあとに続く言葉は、え〜と??」
～サロンでの出前講座の様子～



「大雨災害の被害について
振り返る住民」
～災害ボランティアセンターの活動紹介中～

き、平成25年に発生した雲石町大雨洪水災害の被害状況や災害ボランティアセンターの対応についてお話しさせていただきました。参加された皆さんからは、「災害時に地域で対応するためにも、前回の大雨洪水災害の様子をふりかえることができて良かった。」「と好評をいただいております。

この他にも、災害時の便利グッズの紹介や簡単に作れる土のう作りの方法・積み方等、地域コミュニティで取り組める内容もございます。

平成28年度もこの事業について継続して参ります。こんな話が聞きたい、こんな講師を探している等ございましたら、お気軽にご相談ください。

知報

笑顔で心と体をリフレッシュ
在宅介護者の集い

日頃、介護が必要なご家族を献身的にお世話されている方を対象に、2月19日(金)、鶯宿温泉ホテル森の風鶯宿で第2回目の「在宅介護者の集い」を開催しました。

当日は、「体調管理のポイント」や「認知症予防」など、介護に関する勉強会を行った後、皆さんで会食をし、日頃の悩みや不安、介護方法の工夫など様々な想いを介護者同士で共有しました。



介護の悩みを相談中

また、今回は特別講演「竜小太郎一座」の演劇鑑賞もあり、参加者の方からは「久々にこんなに笑った。明日からまた頑張れます。」「と喜びの声が上がっており、心身ともにリフレッシュした一日となりました。

知報

いつまでも元気で暮らせるように!
平成28年度雲石町
老連単位クラスリーダー研修会

3月1日(火)雲石町総合福祉センターを会場に、平成28年度雲石町老連単位クラスリーダー研修会が開催され、町内老人クラブ会員97名が参加しました。

当日は、「身近な危険を回避するための応急処置ならびに火災予防について」と題して盛岡西消防署雲石分署職員と、「健康寿命の増進を目指したレクリエーション」今日も笑って元気!!」と題して岩手県レクリエーション



「声を出して笑うこと!!
それが元気の秘訣です!」

協会の佐藤淳子氏の2名の方に講義並びに実技指導をしていただきました。参加された皆さんは、住み慣れた家で安全に生活をおくるための秘訣と、各クラブでの活動でも活かせる健康体操を学び、満足した様子で研修会をおえました。

知

平成28年度雲石町合同金婚式開催

一人でも増やしてきた50年を私たちがお祝いします

当社会福祉協議会では、長年雲石町の地域発展に尽力されたご夫婦を祝して、合同金婚式を開催いたします。皆様の一生に一度の大切な日を、私たち社会福祉協議会にお祝いさせていただきます。

★参加対象夫婦

雲石町に住所を有し、かつ居住し、平成28年12月31日の間に婚姻期間が満50年以上を迎えるご夫婦。
(昭和41年12月31日までの間に結婚された夫婦。)

★開催日時

平成28年11月22日(火)

午前11時～午後2時予定

★会場

鶯宿温泉 ホテル森の風鶯宿

★その他

詳しい内容につきましては、後日区長さんを通じて、各世帯にお知らせいたします。



知

平成28年度雲石町社会福祉協議会会費並びに平成28年度日赤社資募集運動のお知らせ

●平成27年度社会福祉協議会会費結果

総額 3,719,800円
74行政区・4,651世帯

●平成27年度日赤社資運動実施結果

総額 2,509,500円
社資: 2,316,500円(74行政区・4,639世帯)
法人: 193,000円(22企業協力)

社会福祉協議会会費並びに日赤社資募集運動におかれましては、毎年町民の皆さまより多大なご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

今年度の標記運動について、4月27日(水)から、各行政区長さんを通じて、町内各世帯にご協力をお願いしております。

ご協力いただいた募金は、町の福祉の発展を目標に、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を実現できるような様々な事業に活用させていただきます。

知

平成27年度赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金追加納入のお知らせ

社協だより第77・78号にて、町民の皆さまにご報告いたしました標記について、追加のご協力がございましたのでお知らせいたします。皆様の温かい善意に感謝申し上げます。

○平成27年度赤い羽根共同募金運動結果

・町内募金箱設置募金(町内11カ所) 9,065円
・自動販売機設置募金(町内2カ所) 9,274円
総額 2,467,351円

○平成27年度歳末助け合い募金運動結果

・西根小学校児童会様 11,643円
総額 3,458,219円



相

総合相談所開設のお知らせ

皆さまのあらゆる悩みごとが少しでも解消できるように、弁護士を始め、各種専門家による総合相談会を年6回開催します。

今後の日程・内容について紹介いたしますので、お悩みがある際はご利用ください。

★開催日程

第2回目…平成28年6月29日(水)
第3回目…平成28年8月31日(水)

※いずれも、13時30分～16時まで
★開催場所

雲石町総合福祉センター

★相談料 無料

★相談内容

・相続などの法律問題
・障がい者に関する問題
・人権・消費生活・介護・生活福祉資金・子育て・結婚・ボランティア等に関する相談など

★相談担当

※弁護士による法律相談をご利用の方は予約が必要となります。

ほか、支援ワーカー、人権擁護員、消費生活相談員、社会福祉士、生活福祉資金担当者、心配ごと相談員が対応します。

★その他：秘密は厳守します。

このひとに聞く！

ふ だんの く らしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです



あ べ か な り
阿部 香菜里さん (22歳・上町1・2)

プロフィール

4姉妹の次女として生まれる。
祖父が糖尿病となり食事制限をしている状況
を見てきて、栄養管理について学ぶために盛
岡大学栄養科学部栄養科学科に進学し、栄養
士の資格を習得。卒業後は、大好きな雫石町
で生活が続けたいと思い、今年4月から栄養
士として町内老人福祉施設に就職する。
趣味は、ドライブ・神社めぐり。

いつまでも大好きなこの町で暮らしていきたい!!

●町について思うことは？

私は産まれ育ったこの町
が好きです。自分が生活を
してきたこの町に貢献して、
ずっと家族と生活を続けたい
と思っています。

ただ、子どもの減少とともに
に、町全体の活気がなくなっ
てきているのを感じ、少し
寂しさを感じています。

●福祉について思うことは？

私は高校時代、マンドリン
ギター部に所属し、障がい者
施設や高齢者施設に慰問を
行った際、利用者の皆さんが
泣いて喜んでくれた印象が強
く、自分自身もとても幸せな

気持ちになったので、福祉施設に就職
したいと強く思いました。

大学時代、養護施設で実習を行い、
現在は、特別養護老人ホーム日赤鷲鳴
荘で働いています。入所者の方は身体
状態の重い方が多く、どのように接して
いいのか戸惑いを感じています。仕事を
行う際は、皆さんに美味しい食事が提
供できるように、先輩と共に、栄養面だ
けでなく、入所者のことを考えながら
仕事に取り組み、スタッフとの連携を図っ
ていきたいと考えています。

今後、高齢者と児童等がお互いにか
かわる機会を増やしていければ、児童
が、小さい時から福祉について考える
きっかけ作りができると考えています。

寄付金

○曹洞宗盛岡一九会 様



やさしいまごころを
ありがとうございました

(平成28年2月から4月までの間
に、寄せられた寄付についてお知
らせいたします。)

51, 269円
(福祉活動のために)

○ふれあいサロンやまなみ会 様
17, 624円
(福祉活動のために)

○雫石町立南畑小学校 様
3, 381円
(福祉活動のために)

編集後記

現在、町並びに町社会福祉
協議会では、「平成28年熊本地
震」義援金の募集を行ってあり
ます。また、5月1日に開催
される今年度第1回目の「元
祖軽トラ市」会場では、しず
くしい軽トラ市実行委員会
ならびに町内ボランティア有志
による義援金募集活動が行わ
れます。

熊本地震について、町社会
福祉協議会のホームページでも
確認できるように最新の情報
を更新しつづけてまいります。
(春)

『平成28年熊本地震』義援金・ 支援金の募集について

平成28年4月14日夜に発生した
『平成28年熊本地震』では、熊本
県内で甚大な被害が発生し、熊本
県全市町村に災害救助法が適用さ
れました。被災された皆さまに、
心からお見舞い申し上げます。

雫石町社会福祉協議会では、被
災された方々を支援するために、
町役場、福祉センター、各地区公
民館に『義援金募集の窓口』を設
置しております。

被災地の方々がいち早く元の生
活に戻るように、皆さまのあた
たかいご支援・ご協力をよろしく
お願いいたします。